



池高がもたらす付加価値

実績値と声で同校がまちにもたらす効果を再確認します

池新田高校は、小笠・掛川地区から大勢の生徒が通う学校です。特に市内在住の生徒の占める割合は多く、本年5月1日現在の生徒数397人のうち、約半数となる201人が市内出身者です。学区制が撤廃される以前は、1000人以上の生徒がおり、その約7割が浜岡中学校から進学した生徒だったと卒業生はいいます。同校は、昔も今も地元の子どものための教育の場として必要不可欠な学校であることは言うまでもありません。

池新田高校の昨年度の卒業生の進路状況は、進学61人、就職78人です。就職希望者78人のうち、51人が小笠・掛川管内へ就職しており、市内企業へは17人が就職しています。同校進路課の松永行弘課長は、「地元の企業を知る『企業セミナー』を開催しています。セミナーを通じて、地元企業の魅力に気付いてもらいたいと考えています。管内の企業からは、本校から優秀な人材を確保したいと話を聞きます。本校の生徒は、地元を愛着を持っている生徒が多く、将来は、まちをもっとよくしたいと力を発揮してくれる人材が多いと感じます」と話します。同校の生徒は、市内や管内の産業発展に広く貢献しています。

■市出身者の在学者数と全校生徒数に対する割合

令和元年5月1日現在

	1年	2年	3年	計	全校	全校比
浜岡中学校	51	42	48	141	397	35.5%
御前崎中学校	29	13	18	60		15.1%
学年計	80	55	66	-	-	-

■平成30年度の進路状況

	人数	割合
進学	61	43.6%
就職	78	55.7%
その他	1	0.7%
計	140	-

■就職先の内訳

平成30年度

	人数	割合
小笠・掛川管内	51	65.4%
県内（管内以外）	21	26.9%
県外	6	7.7%
計	78	-

■過去6年間に市内企業へ就職した生徒数

年度

H25	H26	H27	H28	H29	H30
21	26	16	15	25	17



▲企業セミナー
地元どんな企業があるのかを知るために開催される



▲シアワセミライカイギ
シティプロモーションの一翼を担ってもらおうと開催